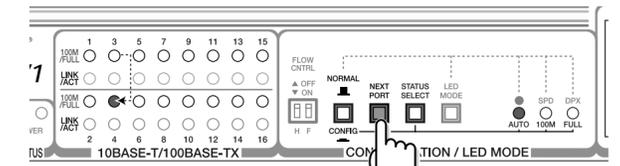




- ポート切替ボタンを使用して、ポート4へ移動します。  
ポート4へ移動することによって、ポート3のステータス設定が有効となります。



- 通信モード設定スイッチを「NORMAL」(スイッチが飛び出している状態)に戻します。  
以上で「ポート3」を「10M FULL」に設定するための手順が終了しました。

#### 接続手順

- 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
- ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。
- ACアダプターのDCプラグを本体背面のDCジャックに接続し、ACプラグを電源コンセントに差し込みます。
- 本体前面のPOWER LED(緑)が点灯したことを確認します。  
UTPケーブルが正しく接続され、端末の電源が入っていれば、接続したポートのLINK/ACT LED(緑)が点灯します。

## スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用することができます。  
本製品と端末間のUTPケーブルの長さは100m以内です。

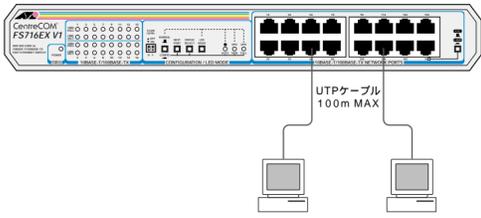


図5 スタンドアローンの接続例

## カスケード接続

カスケードポート(ポート16)を使用すると、ケーブルをクロスタイプに変更することなく、簡単にカスケード接続を行うことができます。  
また、スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。  
そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。

カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

本製品とリピーターやスイッチを接続するUTPケーブルの長さは100m以内です。

カスケード接続をする場合は、本体前面のカスケードポート(ポート16)にUTPケーブル(ストレートタイプ)を接続し、UTPケーブルのもう一方の端を、接続先の機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

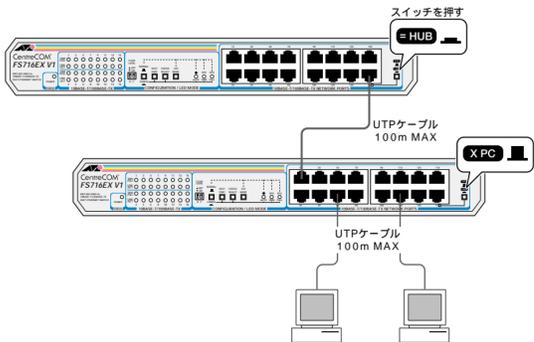


図6 カスケード接続の例

## トラブルシューティング

本製品が正しく動作しない場合は、次のことを確認してください。

### POWER LED は点灯していますか？

POWER LEDが点灯しない場合は、ACアダプターのコードに断線がないか、ACアダプターのが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

### LINK/ACT LED は点灯していますか？

LINK/ACT LEDは接続先の機器と正しく接続されているときに点灯します。  
点灯しない場合は、次のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているかを確認してください。

また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。

また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。

本製品と端末を接続するケーブルの長さ、本製品とリピーターやスイッチを接続するケーブルの長さはすべて100m以内です。

カスケード切替スイッチを確認してください。

本製品のカスケードポート(ポート16)を使用して、リピーターやスイッチとカスケード接続する場合は、本製品のカスケード切替スイッチを「= HUB」(MDI)に設定してください。  
本製品のカスケードポート(ポート16)同士をカスケード接続する場合は、一方を「= HUB」(MDI)に、もう一方を「X PC」(MDI-X)に設定します。

通信モードの設定を確認してください。

接続先の機器がオートネゴシエーションをサポートしていない場合は、通信モード設定スイッチ(ポート切替ボタン/ステータス切替ボタン)を使用して、本製品の通信モードを手動で設定してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。

ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

## 製品仕様

サポート規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX IEEE 802.3x Flow Control
転送モード	ストア&フォワード
電源部	
定格入力電圧	AC100-120V
入力電圧範囲	AC90 ~ 132V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流	0.3A
平均消費電力	12W (最大14W)
平均発熱量	10kcal/h (最大12kcal/h)
環境条件	
保管時温度	-20 ~ 60
保管時湿度	95%以下 (ただし、結露なきこと)
動作時温度	0 ~ 40
動作時湿度	80%以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
	305(W) X 182(D) X 38(H)mm
重量	1.4 kg
MACアドレス登録数	4,096個 (最大)
MACアドレス保持時間	5分
メモリー容量	512KByte
適用規格	
安全規格	UL1950
EMI規格	VCCIクラスB

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。  
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、弊社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。

「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

### 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

## ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、別紙の「調査依頼書(CentreCOM FS716EX V1)」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。

電話による直接の問い合わせは、できるだけご遠慮ください。

FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。

記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

### アライドテレシス サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772  
月～金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00  
土(祝・祭日を除く) 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

Fax: ☎ 0120-860-662  
年中無休 24時間受け付け

## 調査依頼書のご記入にあたって

「調査依頼書」は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。

迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。

記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

## 安全のために

必ずお守りください

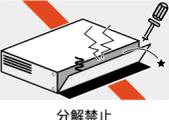


### 警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

通風口はふさがない  
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

分解や改造をしない  
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。  
火災や感電、けがの原因となります。



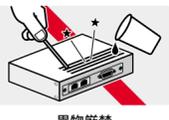
分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない  
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物  
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万が一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない  
本製品に付属のACアダプターは100Vで動作します。



電圧注意

付属のACアダプター以外で使用しない  
火災や感電の原因となります。  
必ず、付属のACアダプターを使用してください。



付属品を使え

コンセントや配線器具の定格を超える  
使い方はしない  
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

湿気やほこりの多いところ  
油煙や湯気のアたる場所  
には置かない  
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く  
感電の原因となります。



プラグを抜く

ACアダプターのコードを傷つけない  
火災や感電の原因となります。



傷つけない

## ご使用にあたってのお願い

### 静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。  
部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以上の環境でご使用ください)

使用しているハードウェアについて

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を「調査依頼書」に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)



お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に再現できるように記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

## おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。  
本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2001 アライドテレシス株式会社

## 商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

## マニュアルバージョン

2000年11月 Rev.A 初版  
2001年7月 Rev.B 誤記修正

## お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をぬらすな中性洗剤使用 強く絞る  
しみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

お手入れには次のものは使わないでください

- 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類禁止